

TOTO

東陶機器株式会社

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは
TOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

補修部品のご購入は
お近くのホームセンター、お求めの取付工事店
またはTOTOパーツセンターへ



0120-8282-55

受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理のご用命は
お求めの取付工事店
または東陶メンテナンス㈱へ



0120-1010-05

受付(年中無休)
受付時間：関東・甲信越地区 8:00～20:00
：上記以外の地区 9:00～20:00
訪問修理(年中無休)
営業時間： 9:00～18:00

商品に関するご相談や修理については、下記のお取付工事店・販売店へ

2001.6
03458R

本 社 〒802-8601 北九州市小倉北区中島2-1-1 TEL 093 (951) 2111

再生紙を使用しています

2001. 6. 12

壁付きサーモスタット湯水混合水栓 (シャワーバス形)

工事店さまへのお願い

貴店名ならびに据付け引渡日を保証書に
ご記入の上、お客様にお渡しください。

TOTO

取扱説明書

保証書付

- このたびは、**TOTO** サーモスタット
シャワー金具・混合栓をお求めいただき
まして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
- この取扱説明書は保証書付ですので大切に
保存しておいてください。

もくじ

安全上の注意	1～4
特長・各部のなまえ	5～6
使用前に	7～8
つかいかた	9～10
使用上の注意	11～13
凍結予防のしかた	14～16
日頃のお手入れと点検	17～23
故障かな? !と思ったら	24～27
アフターサービス	28
保証書	30
お問い合わせ先	裏表紙

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

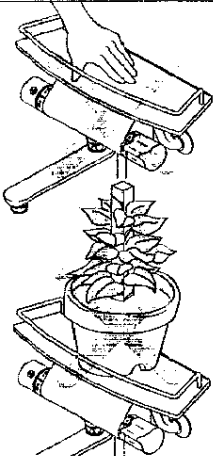
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

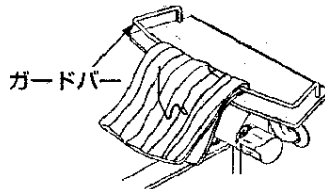
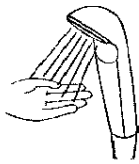
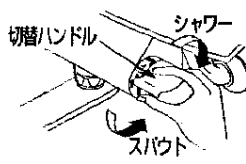
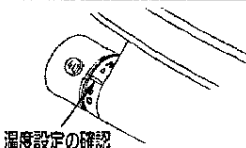
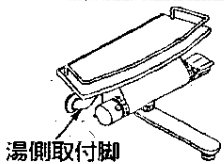
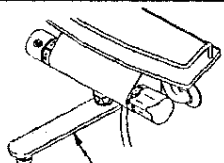
	注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。
---	-----------	--

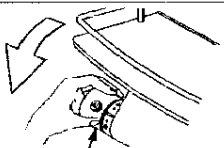
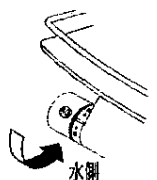
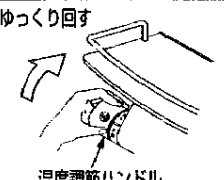
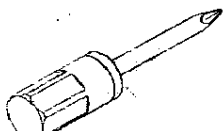
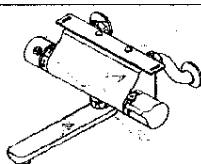
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

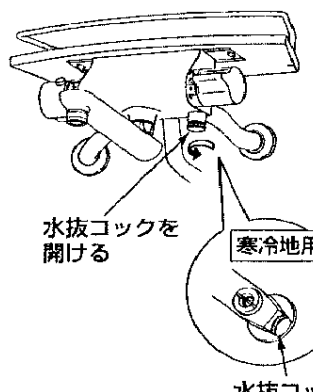
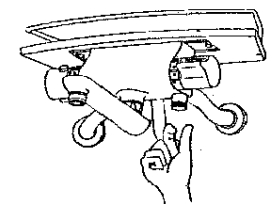
	してはいけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	指示した場所に触れないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

 注意		
●器具に手をついたり、ぶら下がったり、手すりかわりにしたり、座るなど無理な力をかけないでください。 ●重いもの（ふろふた、鉢植えなど）をのせないでください。棚にのせられる重さは2Kgまでです。 ●固いものをぶつけないでください。 器具が破損し、けがをしたり水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。		

 注意		
●ガードバーにふきんやタオルなどを掛けないでください。 棚・ガードバーが破損して、けがをするおそれがあります。		
●シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。		
●お使いになる前に、スパウト側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。 間違えると、やけどをするおそれがあります。		
●温度調節ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。 高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。		
●湯側取付脚は給湯側のため高温になっています。直接肌を触れないでください。 やけどをするおそれがあります。		
●高温の湯をお使いのときには、スパウトは高温になっています。直接肌を触れないでください。 やけどをするおそれがあります。		

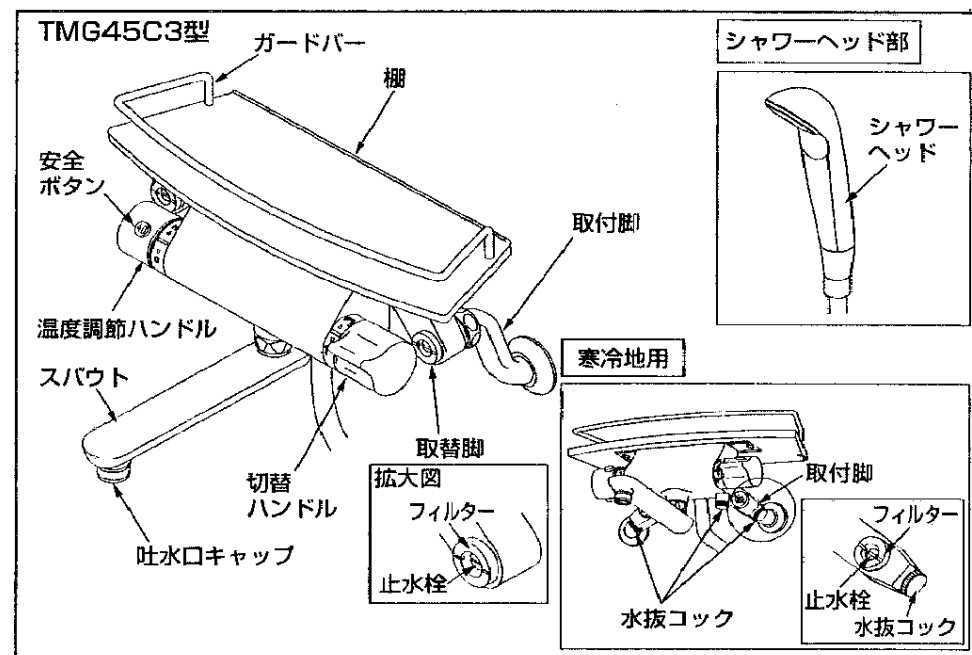
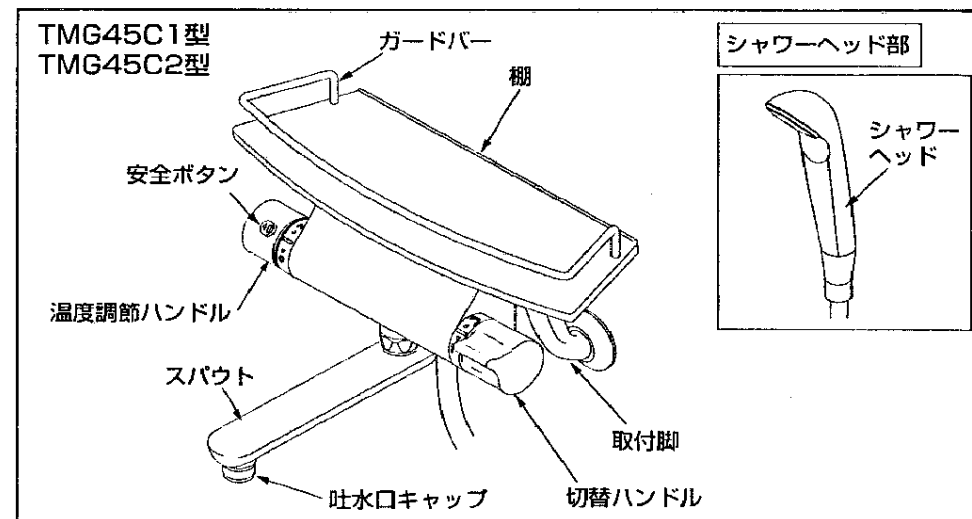
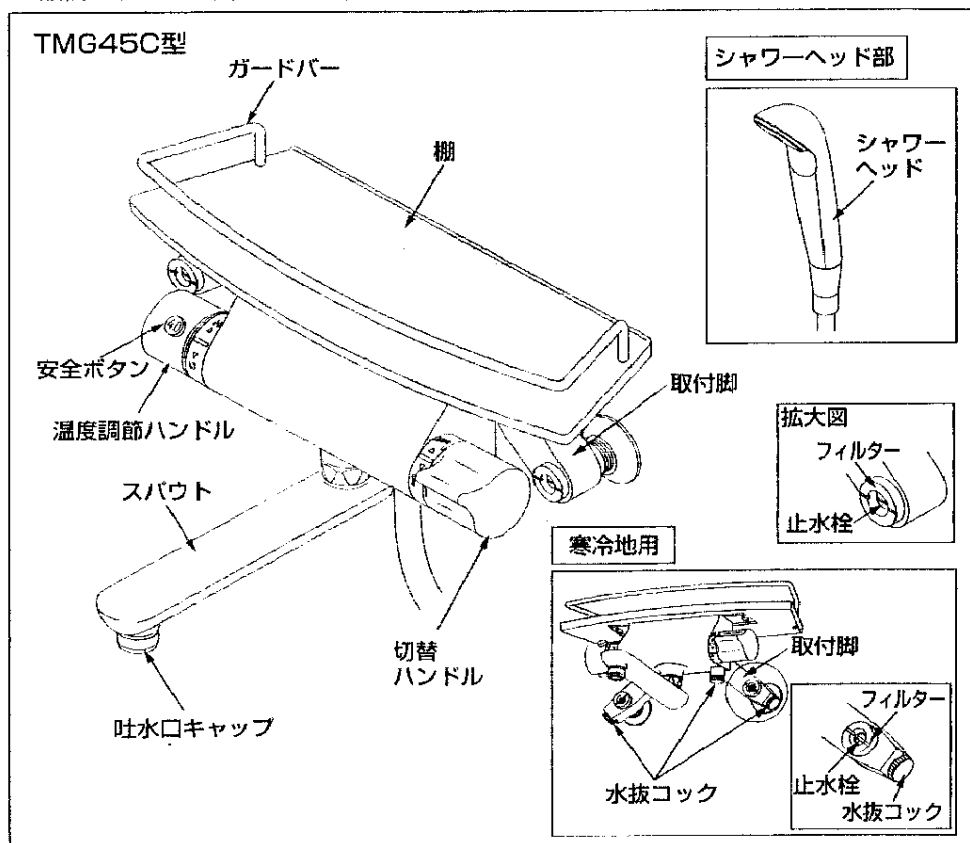
⚠ 注意		
●高温の湯をお使いの後は必ず温度調節ハンドルの目盛を「40」以下に戻しておいてください。 次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。	!	 温度調節ハンドル
●高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。 次に使用すると、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。	!	 水側
●温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。 やけどをするおそれがあります。	!	 ゆっくり回す 温度調節ハンドル
●切替ハンドルを急に閉めると、配管から水漏れをおこすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。 水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	!	 ゆっくりと 切替ハンドル
●分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。 器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	⊘	
●棚をはずした状態では使用しないでください。 やけど・けがをするおそれがあります。	⊘	

⚠ 注意		
●フィルターの掃除は、止水栓または元栓で必ず湯・水を止めてから行ってください。(P.18を参照ください。) 湯・水が吹き出てやけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	!	元栓を閉めます 屋外の地面にあるフタを開ける(戸動) ちょっと重たいフタ このレバー このハンドル 通気にある扉を開ける(マンション) 止水栓を閉めます 湯側 止水栓 水側 止水栓 閉
●凍結が予想される際は、(一般地用をお使いの場合) 少量の水を出したり、配管部などを布で巻いて凍結防止をしてください。 (寒冷地用をお使いの場合) 配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。(P.14を参照ください。) 凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ※配管などの解氷のため、解氷機をご使用の場合、水栓部には絶対に通電しないでください。	!	 水抜コックを開ける 寒冷地用脚 水抜コック
(寒冷地用) ●水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	⊘	

特長・各部のなまえ

- サーモスタットの働きで混合水の温度をほぼ一定に自動調整します。
使用中に給水・給湯圧力が変わってもほとんど温度変化はありません。
- 温度調節ハンドルの操作ひとつでお望みの温度に変えられます。
- 便利な棚が付いていますのでお好みのもの（2kg以内）をのせることができます。
- 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、フィルターを設けています
- 温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので、誤って熱湯を出すことはありません。
- 寒冷地用は器具内の水抜きができる水抜コックを設けています。

*品番によっては図と現品の形状が一部異なります。



使用の前に

●吐水温度の確認をしてください。

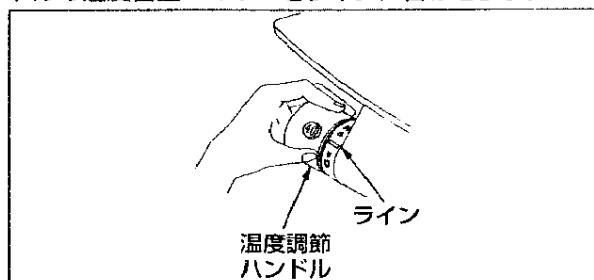
温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの温度が出ないことがあります。

吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確かめてください。

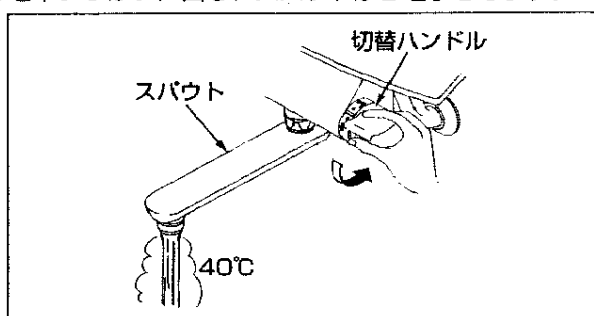
1. 給湯機の給湯温度を設定します。

※混合水栓から吐水する温度より、10℃以上高い温水を供給するよう給湯機側の温度を設定してください。

2. 温度調節ハンドルの温度目盛“40”をラインに合わせます。



3. 切替ハンドルを下いっぽいに回し、スパウトから吐水させます。

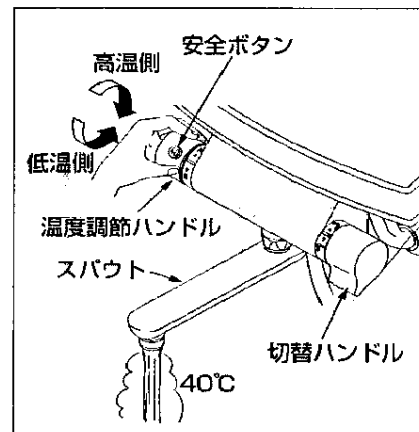


4. 吐水温度を確認します。

吐水温度が適温（およそ40℃）であればそのままご使用いただけます。

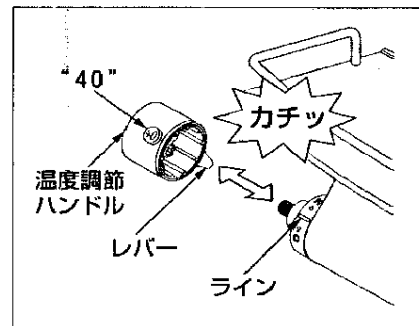
吐水温度が適温からずれている場合は、P.8 の温度設定の変更を参照し、温度調節ハンドルを設定し直してください。

●温度設定の変更



1. 切替ハンドルを下に回してスパウトより吐水させ、温度調節ハンドルを目盛に關係なく40℃の湯が出る位置まで回してください。

温度調節ハンドルは目盛“40”付近でロックされますのでこれより高温で吐水したいときは、安全ボタンを押して回してください。



2. 温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜きとってください。

*ハンドルは、はめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、レバーに傷が付かないように軽くたたいてください。

目盛の“40”の文字と温度ラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押し込んでください。

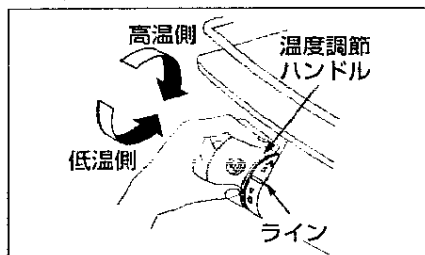
●給湯機が瞬間型の場合

1. 吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますのでハンドルはできるだけ全開でご使用ください。

2. 給水圧力が低いとき、または水温が高いときは、給湯機が着火しにくくなる場合がありますので、給湯機の設定温度（能力切替式の場合は能力）を少し下げてください。

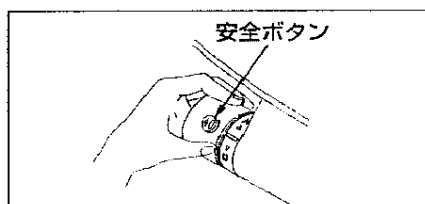
つかいかた

●温度調節のしかた



温度調節ハンドルを回してお好みの温度を温度ラインに合わせてください。
目盛“40”は目安としてください。

●安全ボタン

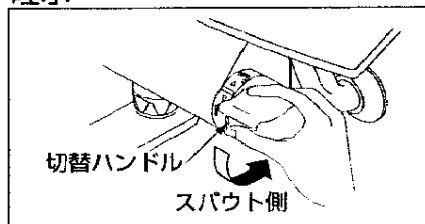


誤って熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。温度調節ハンドルは目盛“40”付近でロックされますのでこれより高温で吐水したいときは、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドルを必ず目盛“40”以下に戻しておいてください。

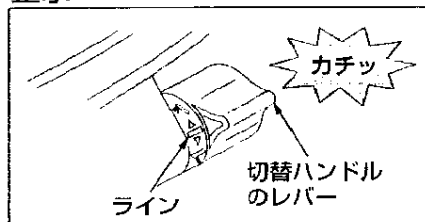
●止水と吐水の切替

スパウト吐水の場合

吐水



止水

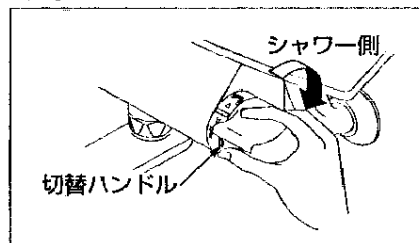


切替ハンドルを下に回すとスパウトから吐水します。また、下いっぱい回すと吐水量が最大になります。

スパウト吐水を止めたいときは切替ハンドルのレバーをラインに合わせてください。カチッと音がし、止水します。

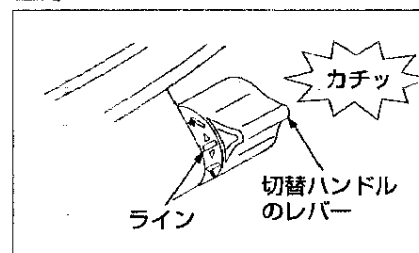
シャワー吐水の場合

吐水



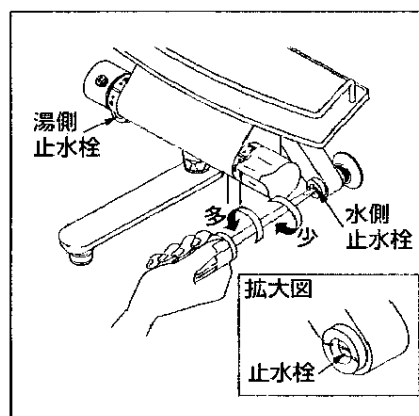
切替ハンドルを上に戻すとシャワー吐水します。また、切替ハンドルを上いっぱい回すと吐水量が最大になります。最適な吐水量に調節してお使いください。

止水



シャワー吐水を止めたいときは、切替ハンドルのレバーをラインに合わせてください。カチッと音がし、止水します。

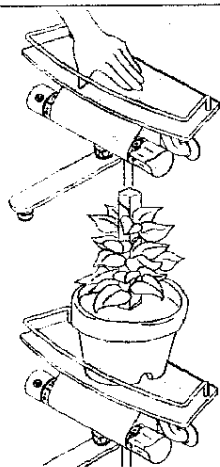
●止水栓による流量調節（下図のような止水栓がついている場合）



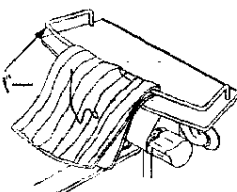
切替ハンドル全開時の吐水量が多すぎる場合などに、止水栓で好みの量に調節できます。止水栓の流量調節ネジを右に回すと流量が少なくなり、左に回すと多くなります。

使用上の注意

●器具に手をついたり、ぶら下がったり、手すりかわりにしたり、座するなど無理な力をかけないでください。 ●重いもの（ふろふた、鉢植えなど）をのせないでください。 棚にのせられる重さは2Kgまでです。 ●固いものをぶつけないでください。 器具が破損し、けがをしたり水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
●ガードバーにふきんやタオルなどを掛けしないでください。 棚・ガードバーが破損して、けがをするおそれがあります。	
●シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	
●お使いになる前に、スパウト側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。 間違えると、やけどをするおそれがあります。	
●温度調節ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。 高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。	
●湯側取付脚は給湯側のため高温になっています。直接肌を触れないでください。 やけどをするおそれがあります。	



ガードバー



●高温の湯をお使いのときには、スパウトは高温になっています。直接肌を触れないでください。 やけどをするおそれがあります。	
●高温の湯をお使いの後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40以下に戻しておいてください。 次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。	
●高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。 次に使用すると、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。	
●温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。 やけどをするおそれがあります。	
●ハンドルを急に閉めると、配管から水漏れをおこすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。 水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
●保守・点検の決められた項目以外は分解しないでください。 器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
●棚をはずした状態で使用しないでください。 やけど・けがをのおそれがあります。	
●フィルターの掃除は、止水栓または元栓で必ず湯・水を止めてから行ってください。 湯・水が噴き出てやけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

●給湯温度は最高85℃まででお使いください。 85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。	!
●凍結が予想される際は、 (一般地用をお使いの場合) 少量の水を出したり、配管部などを布で巻いて凍結防止をしてください。 (寒冷地用をお使いの場合) 配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。 (P.14を参照ください。) 凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	!
(寒冷地用) ●配管などの解氷のため、解氷機をご使用の場合、水栓本体部には絶対に通電しないでください。 器具が破損し、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	⊘
(寒冷地用) ●水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	⊘

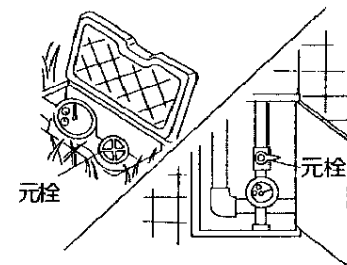
凍結予防のしかた (寒冷地用の場合)

⚠ 注意

- 凍結のおそれがある場合は、配管の水抜き操作とあわせて下記の手順にしたがって水抜きしてください。
凍結による破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 一般地用をご使用の場合で凍結のおそれがある際は、以下の処置を実施してください。
(1) 水栓より少量の水を出しておく。
(2) 配管部などに布を巻く。
- 水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜コックをいきなり開けると、湯・水が噴き出てやけどをしたり、家財などを濡らすおそれがあります。
- 解氷機をご使用の場合
水栓には絶対に通電しないでください。

器具の水抜き方法

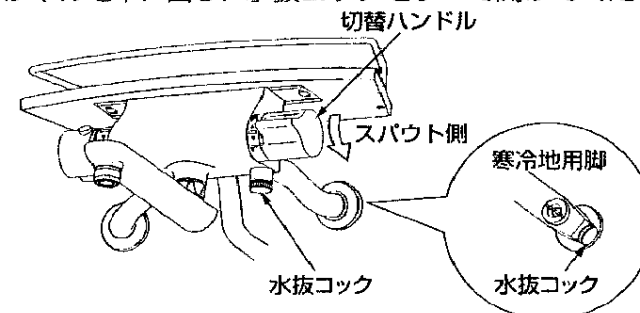
1. 配管部の元栓を閉めてください。



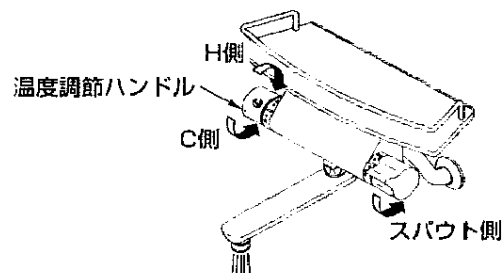
ポイント

元栓を閉めるとき回した量を控えておくと再通水の際に元栓を開けるときを目安になります。

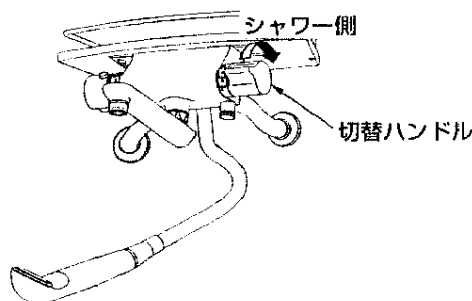
2. 切替ハンドルを下に回し、水抜コックをすべて開けてください。



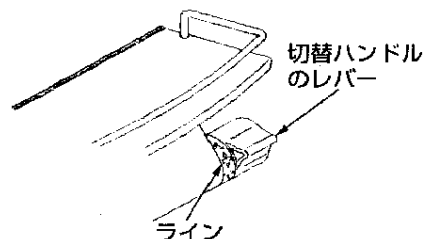
3. 温度調節ハンドルを“H”側いっぱい回しスパウトから水が出なくなったら逆に“C”側いっぱい回して水を抜いてください。



4. スパウトから水が出なくなったら、切替ハンドルを上回し、シャワーヘッドを床近くに下げ、ホース内の水を抜いてください。さらにシャワーヘッドを振って中の水を抜いてから床に置いてください。水抜き完了後は必ず水抜コックを閉めてください。



5. 再通水の場合は切替ハンドルのレバーをラインの位置(吐水しない状態)に戻し、配管部の元栓を開けてください。



ポイント

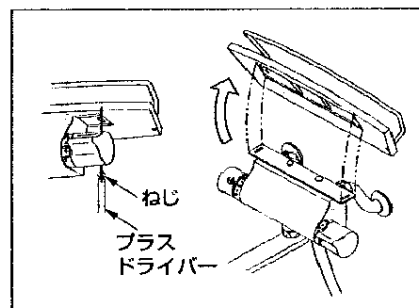
元栓は閉めた量だけ開けてください。
開ける量によって吐水量が変わる場合があります。

お願い

・同梱の「水抜き方法」のラベルは器具の近くに貼り付けてください。

(寒冷地用)

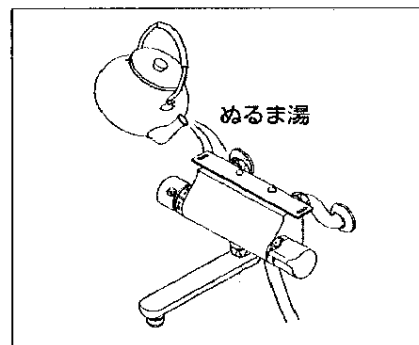
【水抜きをおこなっていても吐水しない場合】



凍結した場合、水抜きをおこなっていてもフィルターに付着した水滴が凍り、通水後も少しの間吐水しない場合があります。そのときは*¹棚をはずして*²フィルターの部分をぬるま湯であたためてください。

*¹棚のはずし方はP.21を参照ください。

*²フィルターの場所はP.18のフィルターのお手入れを参照ください。



⚠ 注意

凍結した場合は温度調節ハンドルの目盛り“40”と吐水温度があっているか確認してください。

凍結すると本体内の部品が破損し、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。



日頃のお手入れと点検

⚠ 注意

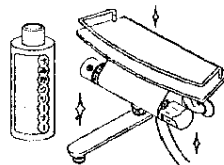
- 定期的に、配管の周りを見て水漏れや、ガタつきがないか確認してください。
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 温度調節ハンドルを長時間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。
日頃からときどき温度調節ハンドルを回してください。
- 表面を傷つけるものは使用しないでください。
・TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
・シンナー、ベンジンなどの溶剤
・クレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
・ナイロンたわし、たわし、ブラシ
- 本体内部の分解はしないでください。
やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らすおそれがあります。



美しさを保つために日頃のお手入れをお願いいたします。

【TOTO水あかクリーナーでのお手入れ】

水栓の表面に付着した水あかなどの汚れ落としにTOTO水あかクリーナーのご使用をお勧めします。TOTO水あかクリーナーは水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去します。
お求めはお近くのTOTOショールームもしくはTOTOパーツセンター（電話番号は裏表紙を参照ください）にお尋ねください。

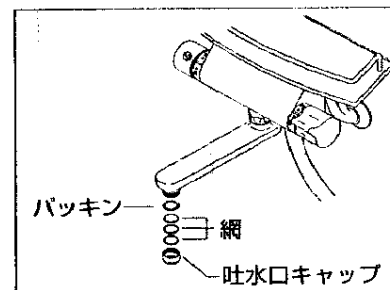


【布を使用したお手入れ】

- ・軽い汚れの場合は、水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。
- ・ひどい汚れの場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取った後、水洗いし、からぶきしてください。

吐水口キャップやフィルターがつまると吐水量が少なくなったり、温度調節がうまくできなくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので、ときどき掃除をしてください。

【吐水口のお手入れ】

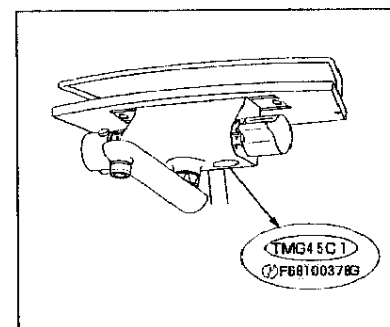


吐水口キャップを手で回してはずしてください。

吐水口キャップの網につまったごみをブラシなどで取り除いてください。

※分解するときは、部品を紛失しないように注意してください。

【フィルターのお手入れ】

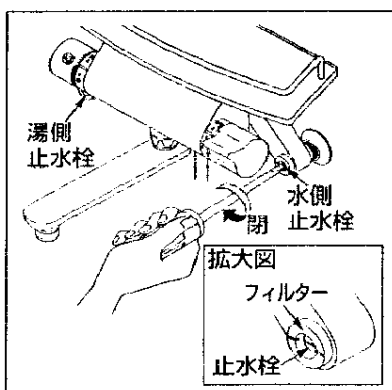


フィルターのお手入れ方法は品番によって2通りあります。

品番は水栓に貼ってある品番ラベルで確かめてください。

* 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

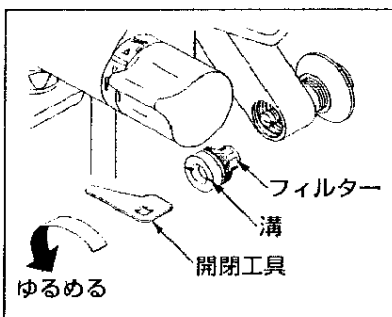
●TMG45C型,C2型,C3型の場合



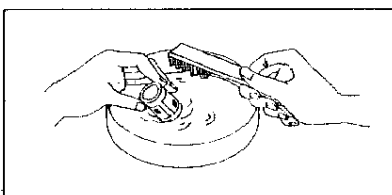
- ① マイナスドライバーなどで湯側・水側の止水栓を閉めてください。

⚠ 注意

いきなりフィルターをゆるめないでください。
高温の湯が出てやけどするおそれがあります。



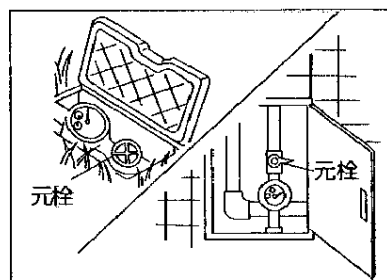
- ② 開閉工具を溝に差し込み、フィルターをゆるめて取り出してください。
※ フィルターは水側、湯側の両方にあります。



- ③ フィルターの網目に詰ったごみをブラシなどで取り除いてください。

- ④ 逆の手順でフィルターを組み付け、止水栓を元の位置に戻してください。最後に水漏れがないことを確認してください。

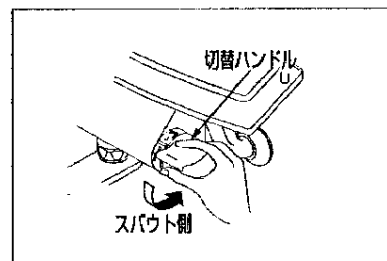
●TMG45C1型の場合



- ① 配管部の元栓を閉めてください。

ポイント

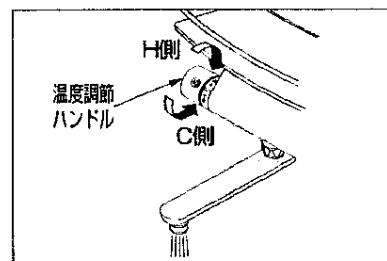
元栓を閉めるとき回した量を控えておくと再通水の際に元栓を開けるときを目安になります。



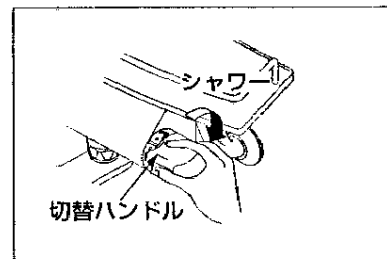
- ② 本体内の水抜きを行ってください。

〈水抜手順〉

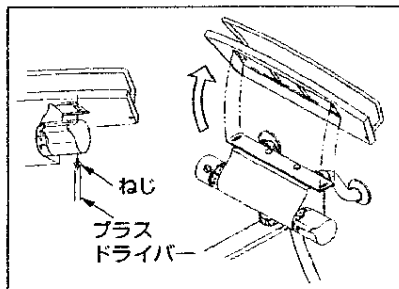
- (1) 切替ハンドルを下に回してしてください。



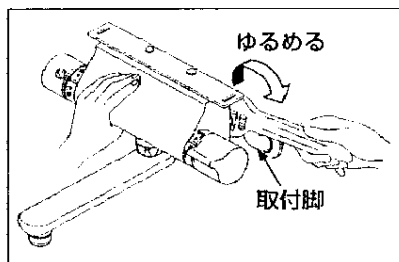
- (2) 温度調節ハンドルをH側いっぱいに戻しスパウトから水が出なくなったら、逆にC側いっぱいに戻して水を抜いてください。



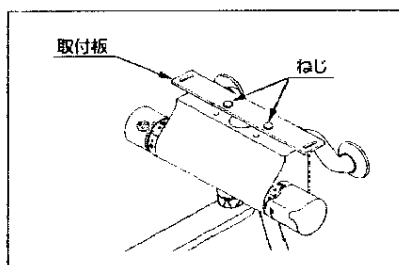
- (3) スパウトから水が出なくなったら切替ハンドルを上に戻し、シャワーヘッドを床近くに下げホース内の水を抜いてください。さらにシャワーヘッドを振って中の水を抜いてから床に置いてください。



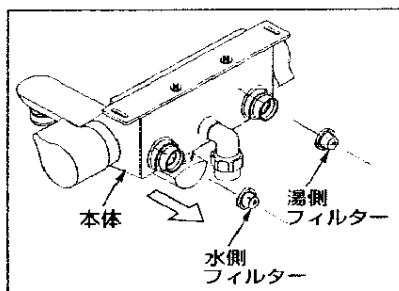
- ③棚の取外しを行ってください。
 〈棚の取外し手順〉
 (1)ねじを外してください。
 ※ねじをなくさないように注意してください。
- (2)棚を外してください。
 ※確実にねじを外してください。



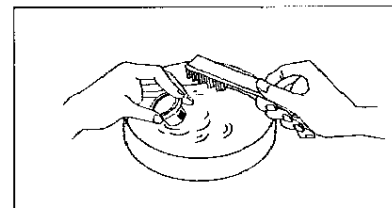
- ④水栓本体を取り外してください。
 左右の袋ナットをモンキーレンチ
 (または専用工具 TZY44R)でゆるめ
 て、水栓本体を取付脚から取り外します。
 ※パッキンをなくさないように注意ください。



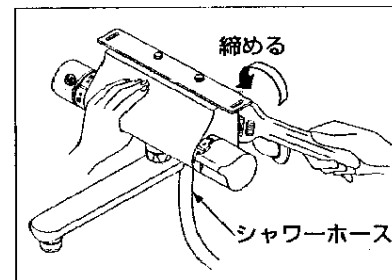
- ※取付板を左図のように付け替えていて、モン
 キーレンチを回しにくい場合は、一度取付板
 のねじ(2ヶ所)をゆるめ、取付板を外すと作業
 がしやすくなります。



- ⑤本体からフィルターを取り出してくだ
 さい。
 ※フィルターは水側、湯側の両方にあります。



- ⑥フィルターの網目に詰ったごみを
 ブラシなどで取り除いてください。



- ⑦本体にフィルターを取り付けてください。

- ⑧水栓本体を取付脚に取り付け水平にな
 るように調整しながら袋ナットを交互
 に締めます。その際シャワーホースは
 取付脚の下から取り出してください。

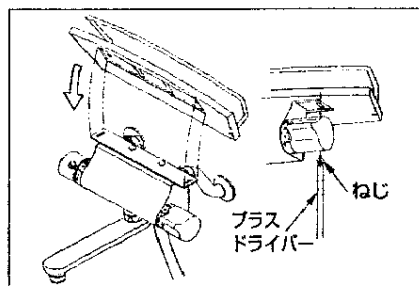
⚠ 注意

パッキンが入っているか確認して、ゆる
 みのないように袋ナットをしっかり
 締めてください。
 本体が傾いたり水が漏れることがあ
 ります。



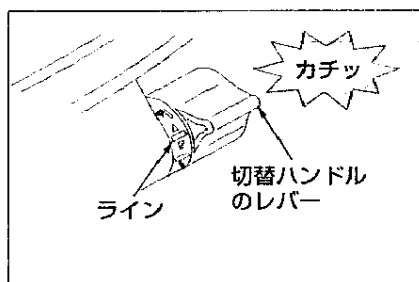
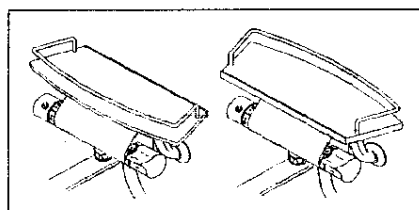
取付脚を回さないでください。
 配管との接続がゆるみ水が漏れる
 おそれがあります。





⑨壁にあたるように棚を本体の上ののせて、プラスドライバーでねじをしっかりと締め付け固定します。

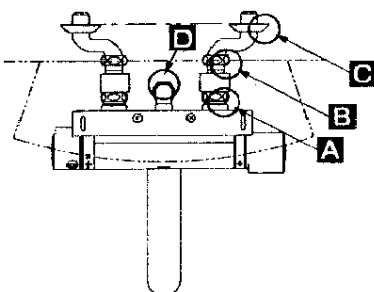
※取付板を外している場合は、棚をのせる前に取付板を同じ位置に取り付けてください。



⑩切替ハンドルのレバーを止水ラインの位置（吐水しない状態）に戻し、配管部の元栓を開けてください。その後、水漏れがないかチェックしてください。

※水漏れがある場合は次のことを確認してください。

水漏れ箇所	確認事項
A・B・Dから水漏れがある場合	・同梱のバックキがきちんと入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。
Cから水漏れがある場合	・取付店（又は販売店）、又は、東陶メンテナンス(株)に連絡してください。ただし、有料となる場合があります。



故障かな？！と思ったら

⚠ 注意

保守・点検の決められた項目以外は分解しないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



●修理を依頼される前に、下表の項目を点検をしてください。

現象	お調べいただくところ		処置	参照ページ
	止水栓付	止水栓なし		
■吐水量が少ない (水が出ない)	止水栓は全開されていますか。	—	止水栓で流量を調節してください。	P.10 流量調節の項
	吐水口キャップ・フィルターの目づまりはありませんか。	—	吐水口・フィルターの掃除をしてください。	P.18 吐水口・フィルターの お手入れの項
	ガス給湯機と組合わせてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか。	—	ガス給湯機の能力を適正能力にセットしてください。	—
	フィルターは凍っていませんか。	—	フィルター部分にぬるま湯をかけてください。	P.16 水抜きをおこなっていても吐水しないの項
■高温しか出ない (湯しか出ない)	水側の止水栓は十分開いていますか。	—	止水栓で流量を調節してください。	P.10 流量調節の項
■低温しか出ない (水しか出ない)	給湯機のスイッチは入っていますか。 給湯機の設定温度はあっていますか。	—	給湯機のスイッチ・設定温度を確認ください。	—
	湯側の止水栓は十分開いていますか。	—	止水栓で流量を調節してください。	P.10 流量調節の項
■温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は十分開いていますか。	—	止水栓で流量を調節してください。	P.10 流量調節の項
	給湯機の設定温度はあっていますか。	—	給湯機の設定温度を確認ください。	—
■水が止まらない	吐水口キャップ・フィルターの目づまりはありませんか。	—	吐水口・フィルターの掃除をしてください。	P.18 吐水口・フィルターの お手入れの項
	ハンドルは止水位置に合っていますか。（全閉になっていますか）	—	ハンドルを止水位置に合わせてください。	P.9 つかいかたの項
■袋ナット部から水が漏れたら	袋ナットはしっかり締まっていますか。	—	袋ナットはしっかり締め直してください。	P.27 棚が傾いたらの項
■異音・振動がしたら	切替ハンドルで徐々に吐水量をしばらくして異音・振動が消えますか。	—	【止水栓付】止水栓をしぼってください。	P.10 流量調節の項
			【止水栓なし】同梱の減圧プッシュを装着してください。	P.25 減圧プッシュの装着方法の項

現象	お調べいただくところ		処置	参照ページ
	止水栓付	止水栓なし		
■棚がガタついたら	取付板のねじ、棚取付ねじはしっかり締まっていますか。		ねじを締め直してください。	P.26 棚がガタついたらの項
■棚が傾いたら	袋ナットがゆるんでいませんか。		袋ナットを締め直してください。	P.27 棚が傾いたらの項
■ガードバーがガタついたら	ガードバー取付ねじはしっかり締まっていますか。		ねじを締め直してください。	P.27 ガードバーがガタついたらの項

止水栓の位置がわからない場合はP.10の流量調節の項を確認ください。

お願い

前ページの処置で故障が直らない場合は、お求めの取付店、**TOTO**お客様相談室または東陶メンテナンス(株)へお問い合わせください。

(P.28「アフターサービス」**修理を依頼されるときは**」の項を参照ください。)

●異音・振動がしたら (TMG45C1型のみ)

同梱の減圧ブッシュを取り付けることにより、湯側の水圧を下げ異音・振動を抑えることができます。

(1) 水道の元栓を閉め、水抜きを行います。

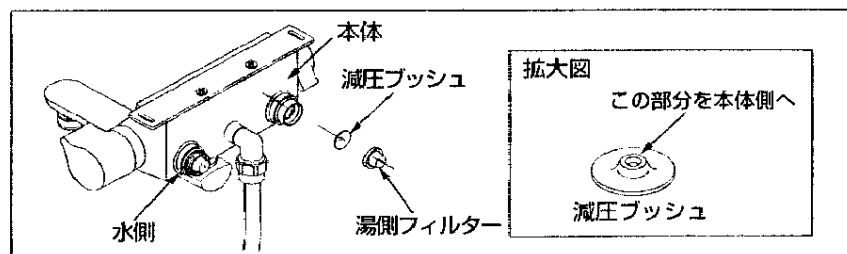
P.20のフィルターの掃除TMG45C1型の場合の

①元栓を閉める、②水抜きを行うを参照ください。

(2) 棚・本体を取り外します。

P.21の③④の棚・本体の取外しを参照ください。

(3) 本体の湯側フィルターの手前に減圧ブッシュを取り付けます。



(4) 本体・棚を取り付けます。

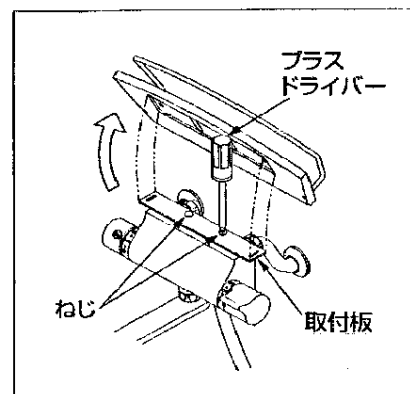
P.22の⑧⑨の本体・棚を取り付けるを参照ください。

(5) 水道の元栓を開け、水漏れがないかチェックします。

25 P.23の⑩を参照ください。

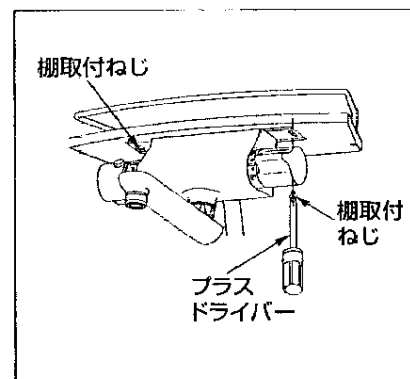
●棚がガタついたら・・・

下記の2ヶ所の(4ヶ)のねじをしっかり締め直してください。



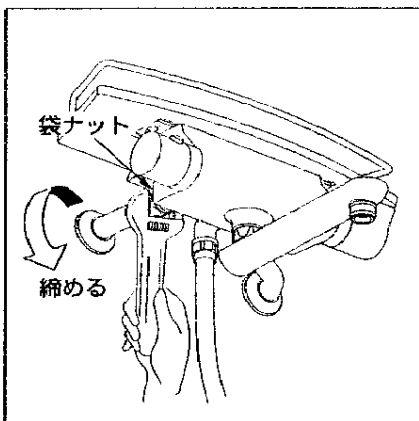
棚を外して取付板のねじをしっかり締め増してください。(2ヶ所)

※棚の取外し方はP.21 ③を参照してください。



棚を本体に固定している棚取付ねじをしっかり締め増してください。(2ヶ所)

●棚が傾いたら・・・



水栓本体を持って水平に調整後、モンキーレンチ(または別売の専用工具 THY44R)で袋ナットをしっかりと締め直してください。

⚠ 注意

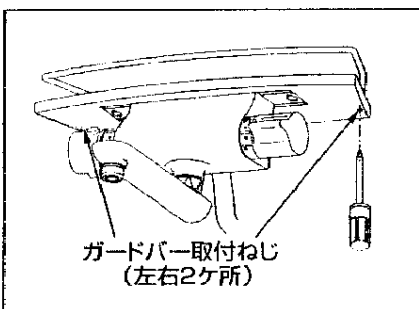
棚だけを持って調整しないでください。
棚及び水栓本体が破損し、けがを
おそれがあります。



取付脚を回さないでください。
配管との接続がゆるみ、水が漏れる
おそれがあります。



●ガードバーがガタついたら・・・



ガードバー取付ねじをプラスドライバーで締め直してください。

アフターサービス

【修理を依頼する前に「故障かな? !」と思ったら】(P.24~27)をご確認ください!!

保証書 (この説明書のP.30が保証書になっています)

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。据付け引渡日、取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みの上、大切に保存してください。
- 保証期間は保証書の保証期間をご確認ください。

補修用部品の供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの)の供給期間は製造中止後10年です。

保証について

- 保証期間中は
保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼付けラベルなどの注意書にしたがっていない場合の不具合など」は有料になります。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
→「修理を依頼されるときは」「修理料金のしくみ」(本ページ)をご確認ください。

修理を依頼されるときは

【修理依頼先】

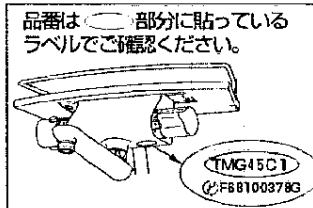
お求めの取付店・販売店又は東陶メンテナンス(株)(電話番号は裏表紙を参照ください)

【ご連絡いただきたい内容】

- ①ご住所、氏名、電話番号
- ②商品名 ③品番 ④ご購入日
- ⑤故障内容、異常の状況(どこから水漏れしているかなど)
- ⑥訪問ご希望日

【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】

「TOTO お客様相談室」又は東陶メンテナンス
(電話番号は裏表紙を参照ください)にお問い合わせください。



修理料金のしくみ〈東陶メンテナンス〉にご依頼の場合

修理料金は 技術料 + 部品代 + 出張料 で構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

MEMO

TOTO

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。据付け引渡日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示の上、取付店（又は販売店）又は東陶メンテナンス(株)（フリーダイヤル ☎ 0120-1010-05）に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ 様		品番	TMG45C型 TMG45C1型 TMG45C2型 TMG45C3型
	おところ 〒			
取付店 販売店	〒 電話 -		保証期間	据付け引渡日から 2ヵ年
据付け引渡日	年 月 日			

★お客様へ

- ・この保証書をお受け取りになるときに、据付け引渡日、取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。なお、本書は日本国内においてのみ有効です。
- ・保証期間中でも、次の場合は有料修理になります。
 - (1) 上記用途以外で使用した場合の不具合。
 - (2) 適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
 - (3) メーカーが定める施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による分解などに起因する不具合。
 - (4) 建築躯体の変形など製品本体以外の不具合に起因する当該品の不具合、塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
 - (5) 海岸付近、温泉地などの地域における強い腐食性の空気環境に起因する不具合。
 - (6) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
 - (7) 火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による不具合。
 - (8) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などに起因する不具合。
 - (9) 消耗部品の消耗に起因する不具合。
 - (10) 砂やゴミなどの配管内流入に起因する不具合。
 - (11) 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
 - (12) 寒冷地仕様ではない場合の凍結に起因する不具合。
 - (13) 本書の指示がない場合。
 - (14) 本書にお客様名、お取付店または販売店名、据付け引渡日の記入のない場合。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室又は東陶メンテナンス(株)にお問い合わせください。

東陶機器株式会社

〒 802-8601 北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 TEL. (093) 951-2111